

## 平成19年度の公共工事コスト縮減実績

公表資料

### 経過

本市では、平成18年度を初年度とし平成20年度を最終目標年度とする「羽咋市公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」(以下、「行動計画」という)を策定し、「直接的工事コストの縮減」を主体に、5分野30施策148項目(直接的な工事コストの縮減施策101項目、間接的な縮減施策47項目)の具体策を掲げ、市発注の公共工事について、全庁で総合的なコスト縮減に取り組んでいます。

### 目標

縮減目標は、平成14年度の標準的な公共工事コストを基準にして、平成20年度に10%以上のコスト縮減率を達成することとしています。

### フォローアップ

具体的施策の着実な推進を図る観点から、「羽咋市公共工事コスト縮減対策推進委員会」において、実施状況の検証と評価を行います。

### 平成19年度実績

平成19年度は、コスト縮減対象の74工事(工事費1,633百万円)で実施した結果、縮減率は12.3%、縮減額は229百万円となりました。

対象件数	対象工事費	縮減額計	縮減額の内訳		縮減率
			直接的分野	間接的分野	
74件	1,633百万円	229百万円	228百万円	1百万円	12.3%

縮減率12.3% = 縮減額229百万円 / (縮減額229百万円+対象工事費1,633百万円)

### (内容)

工事コスト縮減の内訳としては、工事の計画・設計等の見直や建設副産物対策などの直接的工事コストの縮減施策が実績の大部分を占めています。

(平成18年度実績) 平成18年度は、コスト縮減対象の87工事(工事費1,393百万円)で実施した結果、縮減率は10.6%、縮減額は166百万円となっています。

### 今後の取り組み

平成19年度に目標縮減率(10.0%)を上回る12.3%の実績となっているが、当該年度は橋梁工事における新工法採用などで大きな成果を得ているなどの事情があるため、平成20年度以降の工事においては、更にあらゆる分野でコスト縮減に取り組んでいきます。